

真生会富山病院を受診された患者の皆さま

当院は下記の研究を実施しています。この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	片眼性強度近視症例における患眼と僚眼の眼球形態の比較検討
当院の研究責任者(所属)	楯 日出雄 (真生会富山病院視能訓練科(アイセンター))
他の研究機関および各施設の研究責任者	該当なし
本研究の目的	近視は世界的に増加傾向にあり、特に日本を含む東アジアで圧倒的に近視人口が多い背景があります。2050年には全世界人口の半数が近視になることが推察されており、そのうち10%程度は強度近視になることが予想されています。そういった背景の中で、興味深い病態に片眼性強度近視があります。片眼性強度近視は、近視発症の遺伝的要因、環境要因を考える上でいろいろな教唆を与えてくれる病態ですが、片眼性強度近視に関する詳細な報告は、これまでほとんどありません。今回、片眼性強度近視例のみを対象とし、患眼と僚眼の前眼部～後眼部までの眼球形態を比較し、病態背景や特徴所見を見出すことにより病態解明に寄与すること、又今後の臨床データ抽出に還元したいと考えております。
調査データの該当期間	・承認日～令和2年9月30日(登録締切日令和2年6月29日)
研究の方法(対象となる方)	① 片眼が眼軸長26.5mm以上かつ屈折値-6D以下の強度近視眼で、その僚眼の眼軸長が26mm未満かつ眼軸長差が1mm以上ある片眼性強度近視の方を対象とします。 ② 年齢: 同意取得時において、年齢が25歳以上90歳未満の方 ③ 性別: 不問 ④ 入院/外来: 外来のみ
研究の方法(使用する情報)	・患者背景: 患者イニシャル、性別、生年月日、合併症、既往歴、現病歴、前治療 ・検査データ: 視力値 眼圧値 視野結果 前眼部解析データ 眼軸長結果 広角眼底写真 OCT画像結果 ・併用薬/併用療法 ・自覚症状・他覚所見の確認: 問診等により確認する。症状日誌がある場合は参考にします。 ・有害事象の確認
試料/情報の他機関への提供	該当なし
個人情報の取り扱い	使用する情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用いたしません。
本研究の資金源(利益相反)	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
相談・問い合わせ・苦情	電話: 0766-52-6979 担当者: 楯 日出雄 (視能訓練士)
備考	